

経営比較分析表

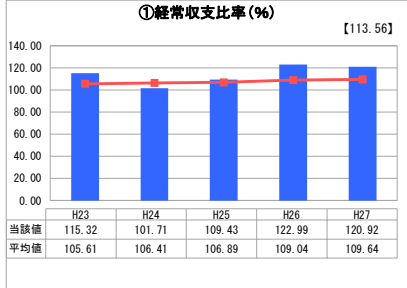
大阪府 島本町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A5
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	88.46	99.95	2,872

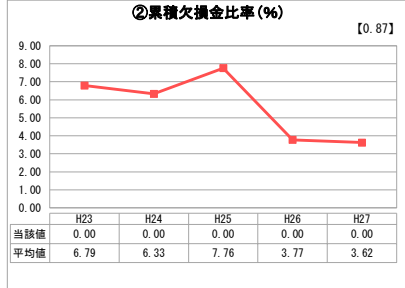
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,678	16.81	1,824.99
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
30,697	4.05	7,579.51

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

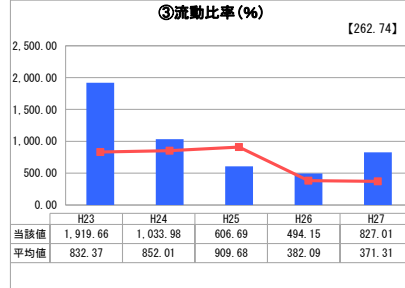
1. 経営の健全性・効率性



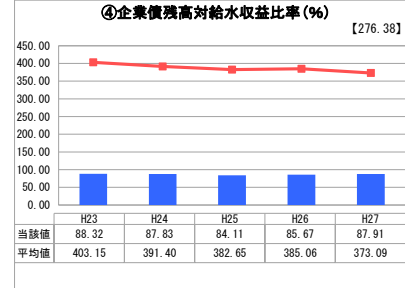
「経常損益」



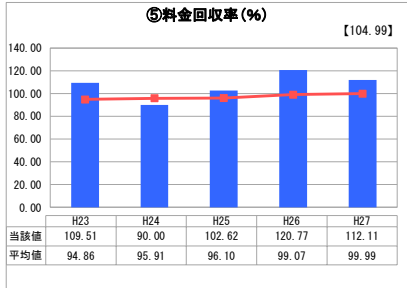
「累積欠損」



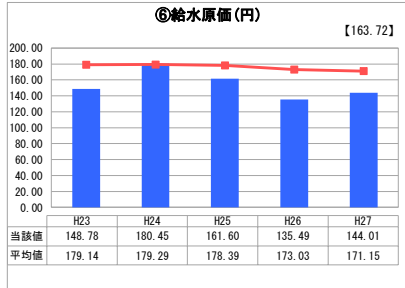
「支払能力」



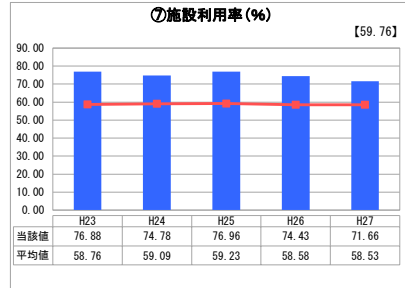
「債務残高」



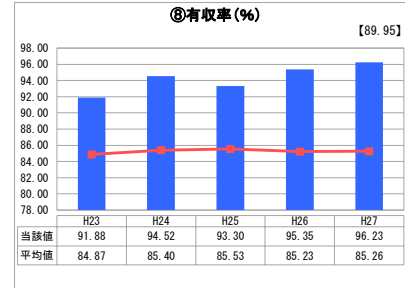
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

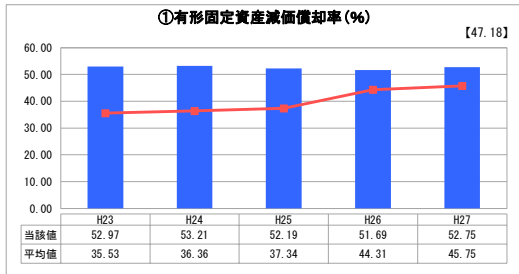


「施設の効率性」

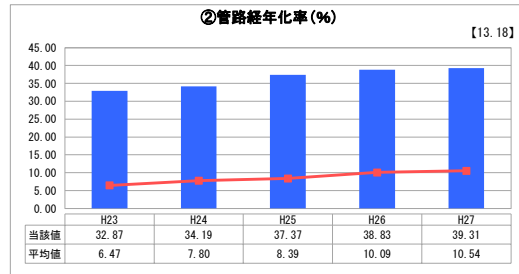


「供給した配水量の効率性」

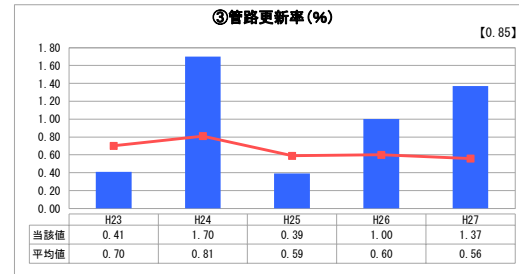
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率及び料金回収率は、類団平均を上回っており、望ましいとされている100%以上を維持しています。また、累積欠損金は発生しておらず、経営の健全性は確保できています。
 ・有収率は、定期的な漏水調査や漏水個所の適切な修繕等に努めた結果、類団平均を10ポイント前後上回る水準を維持しています。
 ・企業債残高対給水収益比率は、地方債発行の抑制に努めてきていることから、類団平均と比較して低い水準となっています。
 ・施設利用率は、類団平均を15ポイント前後上回る水準を維持しており、適切な施設規模による効率的な運営ができていているものと考えています。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率は、類団平均と比較してかなり高い水準にあり、かつ、微増で推移している状況です。定期的な漏水調査及び漏水個所の適宜の修繕により、現時点では良好な給水を確保できていますが、併せて、平成25年度に策定した管路更新計画に基づき、老朽化した管路の更新等を実施しています。

全体総括

経営面では、類似団体との比較から、現時点では一定の健全性・効率性を確保できているものと考えていますが、給水収益の横ばい傾向が続いており、今後は厳しい経営環境となることが予想されます。このため、老朽化した施設の更新等に当たっては、経営状況を注視しつつ、計画的に取り組むこととし、経営の健全性・効率性を最大限確保できるよう努めます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。